



第2回 世界8大学合同国際学生フォーラム／国際シンポジウム

<企画1> 世界8大学合同国際学生フォーラム

テーマ：世界のエネルギー・環境問題を考える：東日本大震災を教訓に

I 部 テレビ会議（モナッシュ大学の研究報告、全体討論）

日時：2013年3月12日（火） 14:30-16:30

場所：人間文化創成科学研究科棟508号

II 部 8大学研究報告

日時：3月13日（水） 10:00-18:00

場所：共通講義棟2号館102号

<企画2> セミナー「東日本大震災ワークショップ・シンポジウム」

日時：2013年3月14日（木） 10:00-17:30

場所：共通講義棟2号館102号

I 部（10:00～12:30） ワークショップ

「被災体験の聞き取りから—地域研究（陸前高田）実習参加学生の報告」

II 部（13:30～17:30） シンポジウム

「震災の体験から考え、行動し、発信する」

参加大学：カレル大学（チェコ）、チェンマイ大学（タイ）、大連理工大学（中国）、
釜山外国語大学（韓国）、ボン大学（ドイツ）、
ワルシャワ大学（ポーランド）、ヴァッサー大学（アメリカ）、
モナッシュ大学（オーストラリア）、お茶の水女子大学（日本）

<企画3> 国際シンポジウム

テーマ：グローバル時代の日本語教育を考える

日時：2013年3月15日（金） 10:00-15:00

場所：共通講義棟2号館 102号

【基調講演】

10:00-11:00

グローバル時代の日本語教育・異文化間理解教育

森山 新（本学 教員）

【パネルディスカッション】

I 部 各国の現状報告

11:00- 韓国の日本語教育事情 -釜山外国語大学を中心に-

諏訪 昭宏（釜山外国語大学 教員）

11:20- 転換期を迎えた日本語教育の挑戦 -中国理工系大学の取り組み-

王 冲（大連理工大学 教員）

11:40- 道具としての語学教育へ -タイの日本語教育の課題

中井 仙丈（チェンマイ大学教員）

（昼 食）

13:20- 進化する日本語教育に対する試み-ワルシャワ大学日本学科の場合-

岡崎恒夫（ワルシャワ大学 教員）・佐野香織（本学 大学院生）

13:40- カレル大学における日本語教育

金杉ペトラ（カレル大学 教員）

14:00- 日本語教育と『外からの目・内からの目』-ドイツ・ボン大学の場合-

吉岡 薫（ボン大学 教員）

14:20- 文化理解教育に向けた考察：ポピュラーカルチャーの授業を通して

土屋 浩美（バツサー大学 教員）

（休 憩）

II 部

15:00-17:00 全体討論

主 催：お茶の水女子大学 グローバル教育センター、グローバル文化学環、リベラルアーツ「生活世界の安全保障」系列
問い合わせ：<企画1>、<企画3> 吉澤 真由美 <yoshizawa.mayumi@ocha.ac.jp>、

<企画2> ワークショップ 小林 誠 <kobayashi.makoto@ocha.ac.jp>、シンポジウム 熊谷 圭知 <global@cc.ocha.ac.jp>

参加費：無料（お茶大の学生・教職員は自由に参加できます）